

エドガー・ドガ

19世紀後半から20世紀前半にかけて活躍したフランス印象派の画家、彫刻家。ドガは印象派の画家たちと交流し、毎回印象派展に出品していたが、戸外へ出て制作する典型的な印象派の画家とは異なり、主に室内の風景を中心に描いている。ドガの関心は、当時の都会生活とそこの中の人間であり、野外を描いたものは競馬場など人の多く集まる場所に限られていた。バレエの踊り子を描いた作品がよく知られ、彼女たちの何気ない一瞬の動作をとらえる画力は素晴らしいものがある。ドガも他の印象派の画家たちと同じく、日本の浮世絵、特に葛飾北斎の影響を受けているといわれている。